透析管理

私自身が人工透析を行うようになって、血圧、体重、食事と色々な項目を管理しなければならなくなり、まずは、日々の管理記録をFileMaker Pro6で作成し、血圧、体重の変化、透析前後の体重等を記録し始めました。　その後血液検査結果も同様に記録し始めました。

ファイルメーカー選手権を期に、他の透析患者の皆さまにも使って頂けるように、作成し直したものが今回の透析管理です。ファイル構成は、透析管理.fp7、日々の記録.fp7、血液検査データ.fp7および食品交換表.fp7となっています。

メインは、透析管理.fp7で、開くと右のメニュー画面となります。



ID　　admin
パスワード　なし

記録する項目の左のボタンをクリックすると、その項目のファイルが開くかレイアウトが切り替わります。　終了する場合には、終了の左がにあるボタンをクリックして下さい。

初期登録

初期登録には、基本情報、透析記録、透析条件を登録します。　災害時等透析施設を変更しなければならない時に必要となります。



食事管理

メニューにはないのですが、食品交換表の使い方のサンプルとして、作成してみました。レイアウトメニューから表示できます。

食事の主食と主菜の分類と品目をドロップダウンリストにより選択し、その量を入力することにより、タンパク質とカリウムの摂取量の合計を知ることができます。



日々の管理

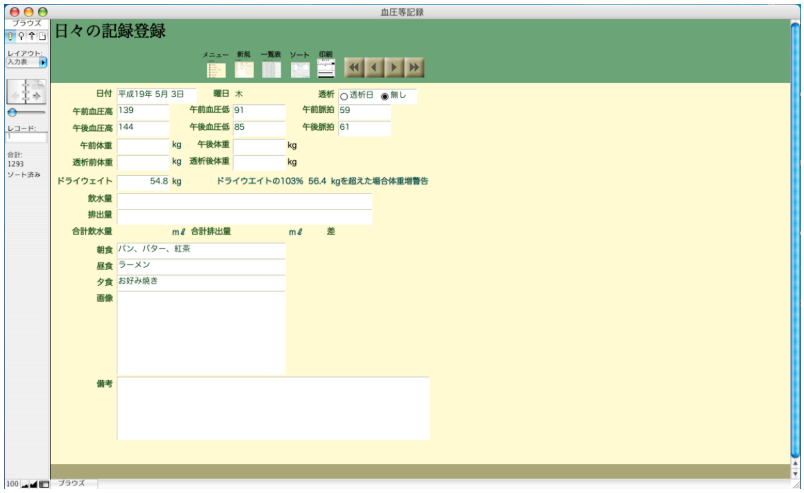
日々の管理記録の項目としては、午前・午後の血圧、体重、食事の記録が必要となります。体重は、透析間隔により中一日で３％、中２日で５％増以下を目標として管理しますので、３％を超えた場合に注意を促すようにしています。

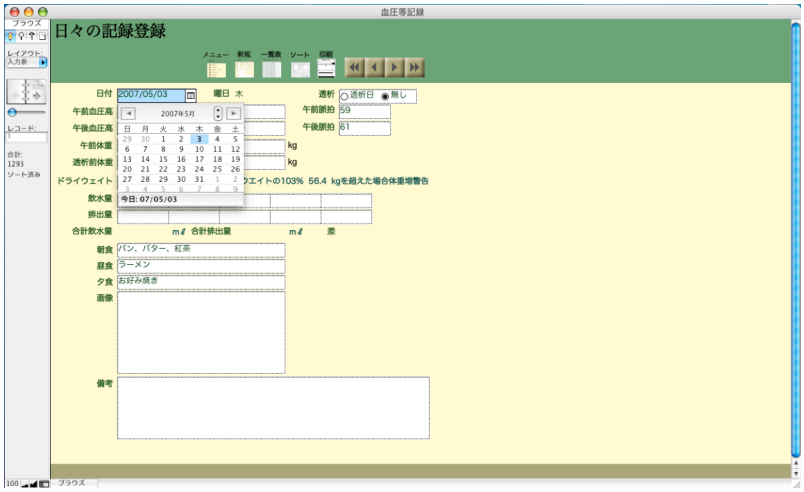
腎機能の低下により飲水の制限があるため、摂取量と排出量の項目を設けてあります。

食事の記録は、たんぱく質、カリウムの摂取制限があるため記録しています。

まず、日付はドロップダウンカレンダーとしています。

画像には、下肢のむくみ、食事の写真などのオブシェクトを貼り付けられるようにしています。



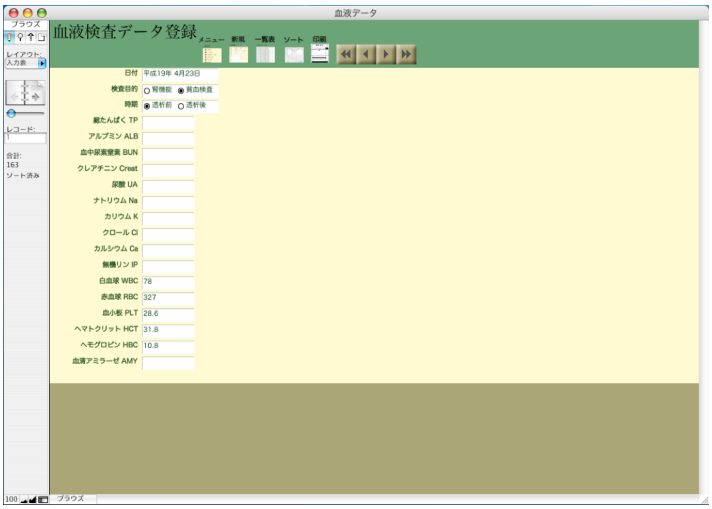


血液検査データ登録

透析効率、合併症の検査のために毎月１回血液検査を行っています。それぞれの項目に管理目標値が設定されており、その値を超えたり、下回った場合には、注意を促すようになっています。

まず、日付は日々の記録同様にドロップダウンカレンダーとしています。

血液検査が、腎機能検査と貧血検査があり、また腎機能検査は、透析前後での採血になるため、その項目は、チェックボックスとしています。各項目の入力欄右側に注意事項を表示するように設定しています。



検査値の意味

上記の注意事項が表示された場合には、検査値の意味でその項目について意味、注意点及び原因を知ることができます。

検査値の意味には、代表的な１６項目のデータを入力してありますが、必要ならその他のデータも入力できます。



透析施設

透析は週３回定期的に行わなければならず、旅行、出張等で院外透析を行う機会が多いため、透析施設の記録も作成しました。

旅行、出張の際は、効率的に行動するためには、宿泊地等の最寄りの透析施設を探す必要があるので、どうしても地図による確認が必要となります。目的地付近の透析施設の資料は、通院している透析施設から頂けるのですが、透析施設への予約は、自分で行わなければならないため、旅行透析を行う透析施設を決定するためにも施設名、住所、電話番号、地図情報等の情報が必要なために、このデータベースを作成しました。データは、過去に透析を行った市町村に存在する透析施設を入力してあります。



透析施設データを追加する場合には、下記ＵＲＬにて施設名、住所等を検索して入力して下さい。住所と施設名を入力するとインターネットに接続されている場合、マップが表示されます。　インターネット接続環境により表示速度が遅くなる場合があります。

透析患者.com　http://www.tosekikanjya.com/

ホスピタウンホームページ　http://www.hospitown.or.jp/の全国透析施設リスト

食品交換表

透析患者には、飲食に制限がありますので、その中のタンパク質、カリウム制限の目安として食品交換表データベースを作成しました。



分類、食品名、たんぱく質が３ｇとなるような１単位のｇ数、目安となる単位、水分、カリウム、カルシュウム、リン、ナトリウム、食塩の量が入力されています。

また、その食品１単位での摂取カロリーも入力してあります。

タンパク質の制限は、一日に３０g、カリウムの制限は、血中のカリウム濃度が5.5gを超えると心不全になる可能性があるために制限されています。